

様々な政策の成果と課題を踏まえて考えをまとめよう

大化の改新が進む中、天皇による中央集権化が進展していきました。子どもたちは実際に行われた政策について分担して調査する活動を行いました。大宝律令の制定によって完成した公地公民制・中央集権体制がその後どのように変遷したかを、税制や農民の負担等に焦点を当て、課題を整理しました。

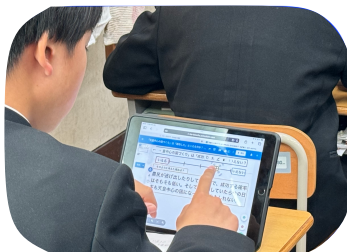
本授業では、「天皇中心の国づくりが成功したか」を「天皇」「豪族」「農民」などの視点から各政策の内容と結果を再評価し、自らの考えを整理してまとめていきました。



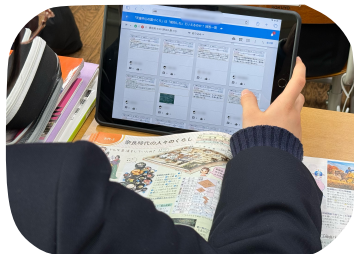
①天皇の権力を強めるためにはさまざまな政策が実施されましたが、最終的には失敗したものもありました。政策の本来の目的である「天皇中心の国づくり」が成功したかどうか、という問いについて考えてみましょう。



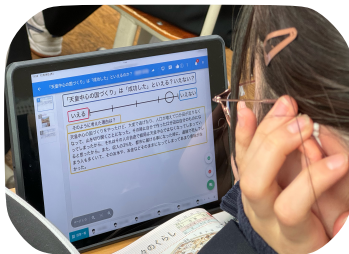
②「何に注目すれば『成功した』と言えるか、分かりますか？」と先生は問いかけました。子どもたちは成果と課題に着目して考えます。



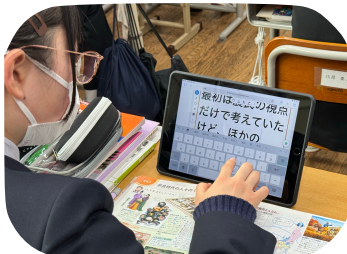
③子どもたちは自分の考えを「線分図」に示した後で、スクールタクトにその理由を記入します。線分図に書くことによって、自分の立場を明確にすることができます。



④子どもたちは、お互いの考えを共有することで様々な考え方や視点があることに気づきます。参考にした友達の考えに「いいね」をつけるなどして評価し、さらに自分の考えを再構築していきます。



⑤友達の考えを参考にして、自分の考えをまとめ直します。最初は失敗していたと考えた子どもが、自分と異なる視点を持った友達の考えに触れることによって、自分の考えを深化させることができます。

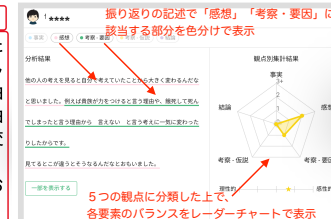


⑥本時の学習を振り返り、分かったことや疑問に思ったことを振り返り欄に入力していきます。子どもたちは、他の人が見ている視点が異なるため、自分の考えが変わっていったことを実感していました。

高遠中学校 社会科 池田翔弥 先生の実践をもとに推進センターで編集させていただきました

「振り返りAI分析（B版）」を試してみましょう

授業の振り返り
他の人の考えを見ると自分で考えていたことから大きく変わるんだなと思いました。例えば貴族が力をつけるという理由や、餓死して死んでしまったという理由から 言えない という考えに一気に変わったりしたからです。見てるとこれが違うと思うんだなとおもいました。



「スクールタクト」には、回答欄に入力された振り返りのテキストを、独自開発のAIによって客観的かつ瞬時に振り返りの5つの観点に分類する機能が追加されました。

子どもたちに振り返りを促すには、優れた振り返りの事例を取り上げ、価値付けたり意味付けたりするようなコーチング指導も必要になります。

この機能を試すことにより、自分自身の振り返りを見直す一助となるかもしれません。

Aさんの振り返りの記述（左）とAI分析の結果（右）

伊那市学力向上検討委員会の先生方と

「ICT活用教育」について考える

伊那市学力向上検討委員会では、「授業での有効活用に関する研究」を行っています。今年も委員の先生方に協力をいただき、学校の授業を公開していただいています。

今回は、高遠中学校の池田翔弥先生の校内研究授業に参加し、学びを共有しました。



伊那市学力向上検討委員会の先生方の参観が行われました

参加された委員の先生方のご意見を紹介します

- ・自分の判断を「線分図」に表示することは、個人またはクラス全体の考え方の傾向が一目でわかる優れた機能であると考えました。この機能により、個々の立場や考え方の異なる意見が適切に発表され、促進されていると感じました。
- ・自分の立場を「線分図」に視覚化させることは、自分の揺らぎや他者の判断の揺らぎを理解するのに非常に有効であると感じました。さらに、クラス全員がどのような判断をしているのかを全体の一覧やマトリックス表のような形で確認できると良いと思いました。授業の最終部分では、その変化をクラス全体で共有できると良いと感じました。

- ・一度自分の考えを書いた後に、クラスの友達の見解を参考に再度考えをまとめる場面で「共同閲覧モード」に切り替えることによって、お互いの考えや着目している点を瞬時に確認でき、自分の考えを深めることができたと思います。
- ・考えをまとめたり、知りたいことをすぐに調べたり、必要な図表や資料をコピーできるなど、iPadで一元的に操作できる点は優れています。個人の最初の考えを投票機能などで明らかにし、友だちと協力して考えた後で再び投票することによって、考え方の変化を実感することができるのではないかと感じました。